

テント場周辺考察

洞窟調査に参加して、地形がどうこう
と言える程の観察はしなかったのだが、
報告書を書く上で一応気のついたことを
一つ二つ並べてみようと思う。

ではまず新マイコミ附近から。ベースの
近くなので変化がよくわかるのだが、
特に雨の降った時はすごいものである。ま
ず、新マイコミ前方にかなり大きなプールが
でき、流れ込む沢の水の増加は驚ろく程
である。ところが雨が止むと同時に、水は
どんどん減り、一夜明けると、以前のように
沢もプールも干上がっている。その減り
方は、地面が水を吸い込むようなもので
はなく、水が地下へもれて行くような感じ
である。たぶんある程度の深さまで、連
続した細い穴が多数あっていて、さらに福
来口へ通じるような水脈(河のように流れ
ているのか、プールのようにたまっているのかは
判断できないが)に乗って放出されてい
るのだと思う。さて、新マイコミに流れ

込んでいる沢を登って行くと、白樺
平という所に到着する。このあたりの風
景は、岩だらけの平地に少々の大木と
灌木、草木等が咲き乱れている、といっ
た感じである。両側を沢筋が通っ
ているが、もし大雨が4.5日降るとこ
こも大きな川の一部となるのではない
か、そして上部からの急な沢を導って
くずれた土砂が州のようにたまって
この平地が出来たのではないだろうか。
白樺平の上部からは沢の傾斜は急に
なっており、2つの沢はあまり離れないま
ま数百メートル、やがて沢は四方へ散
らばって行く。つまりは小規模な扇状
地と言えるかもしれない。……とい
うように外観からの観察しか出来なかつた
が、また行くようなことがあれば、洞窟
の出来る要因等を地形上の特徴と
結びつけて、洞窟の発生しやすい条件
等を知りたいと思う。 — 以上 —

(大嶋)